

ヴァスーラ、永遠の報い

親愛なるキリストにおける友人の皆さん

多くの方々がご存知のように、神の御意志はすべての時と季節を見通し、それに応じて恵みを分配し、永遠の至福の天上の喜びを与える前に、それぞれの人に使命をお与えになります。

ヴァスーラは永遠の報いに入り、今、主のもとにいます。

私たちは今、神の御前で私たちのために嘆願してくれる天上の仲介者を持つという祝福を受けています。それゆえ、神がヴァスーラに委ねられ、地上で始まった彼女の使命が続けられるように、彼女に祈りを捧げるべきです。イエスは「神のうちの真のいのち」の預言的メッセージが「来たるべき多くの世代にわたって」残ると保証しておられ（*1）、それを通して、ヴァスーラに授けられたのと同様に、私たちにも主の「永遠の現存」の特別な恵みを授け、こうして私たちも「生ける聖櫃」となることを望んでおられます。（*2）

イエスは明かされます。

「ああ、来なさい、私の魂に愛された者よ！ このやり方で私と会ってほしいというあなたへの私の渴きは、癒えることがない。あなたを見守り、危険から守るために、私の言葉を与えた。子供の一ような信仰をもって正義のために仕える者は幸い！ 私の言葉は豎琴のように、心地よい音色を保ちつつ、楽の音のように鳴り響くだろう。私の喜ばしい言葉は、リズムカルに、天使的な旋律をもって与えられ、響き渡って耳に届き、この世代と、来るべき幾世代にまで到達する……恐れるな、胚がへその緒につながっているように、あなたの魂を私のうちに安全に結び付けた。私の教会を活気づけるために、あなたに生命を吹き込み続けよう。私の教会を慰め、勇気と熱心さをもって私のメッセージを広めるために。あなたの私の家への熱意は多くの者を刺激した、だが私があなたと共にいることに自信を持ちなさい。私の手が絶え間なくあなたの上にある。愛があなたを愛している。ic」（*3）

「私の娘よ……私はあなたを誘惑し、賜物を与えた、あなたの魂を私の現存で装い、あなたという存在を私の子、イエスの宝石で刺繍した、それは彼を十字架につけるために使われた宝石である。私はあなたに熱中し、あなたに私の詩を書くために、私の喜びの園、私の王宮の住まいに置こうと、あなたの先祖の家からあなたを引き抜いた。この詩はあなたたちのため、また後世のすべての世代のために私が書いたものだ。私は私の民を導き続ける……」（*4）

「私である。祝福を受けなさい。私の現存は絶え間なくあなたと共にあるということを思い出しなさい。恐れるものは何もない、私の子よ……私の現存を決して疑ってはならない。私はいつもあなたと共にいる。平和を！ ic」(*5)

「私のヴァスーラ……あなたの中に私の玉座を据えた。あなたに私の賜物と私の宝を明らかにし、あなたを私の存在だけによって飾った。あなたを所有し、あなたのうちに私の知恵を注ぎ込むことは私の喜びである。そうすることによって、あなたの魂が輝きを放つからだ。私はあなたを私たちの澄んだ泉に浸した……」

(ヴァスーラが答えます)「そして今、私はこう言えます。

『私は安らぎを見つけ、あなたの豊かな恵みを味わっています。

たとえ私がこの世を去っても、

この宝を後の世代に

残していきたいのです。』」(*6)

ヴァスーラは手術の前に秘跡を受け、「私は今、神の手の中にいます」そして「何も心配することはないわ」と繰り返し周囲に語りました。ヴァスーラは、最高の外科医の治療を受けるために他の場所(*訳注:アテネと思われる)に行く機会も与えられたのですが、家族や愛する人々の近くにいるのが一番良いと判断しました。

ヴァスーラは、聖霊の促しによって、自身の預言的啓示や絵画、その他の品物を「神のうちの真のいのち」センターに移すことの重要性を、手術の数日前から、そして診断される前ですら、うすうす感じていたようです。ここ数日、彼女はサポートチームの助けを借りて、それらを移動している写真をたくさん送ってくれました。

徹夜の聖体礼拝に加わっていただくことによって、また祈り、断食やその他の犠牲を捧げていただくことによって、ヴァスーラの身体の健康を守るために更なる力添えをしてくださった多くの皆さんに深く感謝します。私たちは今、一つの信仰の家の一員として、愛と謙遜のうちに互いに一致し、支え合っていることを世に示すように呼ばれています。をれが神の御旨だからです。これまでと同じように祈り続け、神からのみもたらされる平和を固く守り続けましょう。イエスはヴァスーラに言われます。

「私の平和を失わないように。そして、あなたが強くあり続けるように。」(*7)

「ヴァスーラ、私が見捨てたことがあったらどうか？ 私は神である。私に寄りかかり、私に信頼しなさい……私の平和を受けなさい。愛する者よ、私はあなたのために場所を用意した。」(*8)

多くの方法で、イエスはヴァスーラに、神の特別な愛と天国での居場所を保証しました。

「それから、あなたの頭は私の肩にもたれ、花嫁を祭壇に連れていく花婿として、私はあなたを私の王宮の祝宴へと連れていく。私の左腕をあなたの腰に回し、あなたを私の抱擁の中にしっかりと抱き留めよう。私の王宮の恩恵を大いに楽しむことができるように。私と共にいるなら、あなたは何にも不足することがない。私が必要なものを提供し、あなたを私の名の栄光と私の神性によって飾ろう、あなたに金欄を着せよう、あなたの花嫁衣装からはミルラとアロエの香りが漂う。その後、私たちが互いに隣り合い、黄金の天蓋に覆われた婚姻の床に座っている間に、私は私自身であなたを完全に覆い、あなたの若い日々の罪を拭い去る。」(*9)

「娘よ！ アザミの中のユリ、最愛の者よ。あなたが私のものであるように、私もあなたのもの……愛する者よ、あなたを私の王宮に連れてきた、私の父の現存の中に。ああ、そうだ！ 御父はあなたの父でもあられる！ その現存の中で、御父を認めた時、あなたの心は若い雄鹿のように喜びで飛び上がった。御父があなたの名を呼ばれたとき、その御口から放たれた光線は、パールのようにご自身の栄光であなたを覆った。これは、私のすべての天使たちの間で、天における素晴らしい喜びの瞬間であった。」(*10)

「今度は私が、詩歌の中で信仰と正義を歌いながら、天の軍勢をあなたに明らかにしよう。私は天の聖人たちをすべて集め、天のすべての臣下たちを集めて、あなたの中にある私の威厳と主権を明らかにし、私がどのようにあなたを私の頭のための王冠とし、あなたの時代の王の偉業としたかを明らかにしよう。あなたの装飾品はすべて神聖なものとなり、私が与えるものとなるだろう。以前は奴隷であったあなたは、私のうちにあって自由となる。」(*11)

父なる神が明かされます。

「私のヴァスーラ、私はあなたに私の力を示し、驚くべき業を行ない、私の花嫁であるあなたを通して、世に私の優しさと私の憐れみを明らかにした。」(*12)

「あなたを私の選んだ者たちと同じように扱った。見よ、私はあなたに私の子、イエス・キリストをまとわせた。

そして、正しい者たちが天国に入るための門である私が、まことに言う。苦難の湖で純粋なミルラによって蒸留された百合のままであり続けなさい。その湖は、実はキリストの涙を表している。そうすれば、私たちは愛する者にこう言えるだろう。『あなたの香りは何と芳しいことか。あなたの香りは、他のどの香料よりも芳しい。あなたは、言葉では言い尽くせな

い私たちの光に包まれている。あなたの甘い香りを広げ続けなさい、私たちが花嫁のために準備した道の終わりで、約束された喜びを見いだすために。そうするなら、あなたは永遠の地で最も美しい安らぎを見いだすだろう。』>(*13)

イエスは明かされます。

「見よ！ 私は今、私の子孫であり、私の骨の骨、私の肉の肉であるあなたたち皆を呼んでいる、来て、あなたの花婿の心の親密な喜びを味わうようにと。そうするなら、あなたのうちに神が完全に住まうようになる！ さあ、あなたの頭を私の上に休ませなさい、私の鳩よ、そして私も、あなたの沈黙のうちに休ませてほしい。ic」>(*14)

「あなたは寛大だ、私の子よ、天の報いはあなたのもの。」>(*15)

神が託された使徒的使命を、ヴァスーラは確かに果たすことを神は明らかにされました。

「あなたのために備えた道を、あなたは走り終えると保障する。あなたはこれからも逆らいのしるしではあり続けるだろうが、私と一緒にその使命を成し遂げ、私の誉れとなる……」(*16)

「私、ヤハウエは、私に栄光を与え、あなたの使命を優雅に達成するのに十分な力をあなたに与える。」(*17)

「あなたの使命を、手を取り合って、成功と勝利をもってやり遂げるとすでに約束した。」(*18)

「信じなさい、私の愛しい教え子よ、私、イエスはあなたを愛している。私の平和を受けなさい。私たちは一緒に働く。私とあなたで、私のメッセージを広めよう。あといくつかの国々に遣わす、そして、あなたは使命を果たし終えたら、私のもとに戻ってくる。私自身があなたを迎えに来る。」(*19)

以上のことを踏まえ、私はすべての司祭に、感謝を込めて、ヴァスーラのために9日間のミサを行うようお願いします。そうすれば、ヴァスーラは天から、これらのミサの恵みを自らの意向に沿って適用することができるでしょう。彼女が地上で使命を果たしていた時に主が予告されたように、ヴァスーラはキリスト教会の一致と復活祭の日付の一致のために、天から私たちを仲介し続けるのです。

昨日、ヴァスーラの親しい友人である医師から、彼女の健康状態は、彼女が自分の健康を限

界まで高めて免疫力を低下させたために引き起こされた可能性が高いということを聞きました——すべては神と魂たちに奉仕するために。言い換えれば、ヴァスーラは魂の救いと神の栄光のために、純粋な捧げ物のように、文字通り自らを費やしたのです。代償をいともなく、彼女はキリストの神秘的なからだ、つまり教会のために自分の命を捧げました。彼女の自己献身は、ローマ教皇の使徒的書簡及び自発教令「Maiorem Hac Dilectionem」の中で、列福および列聖調査のプロセスにおける新たな事例として定められた「命の捧げもの」に関連しています。この「命の捧げもの」は、殉教や英雄的美徳の特別な事例とは区別され、神のしもべの列福のための基準に基づいています。つまり、「慈愛のために——自由かつ自発的に命を捧げ、確実かつ短期での死を英雄的に受け入れ、その『命の捧げもの』と早すぎる死との関連性が示されていること」。そして死までの間の、キリスト教的美徳の少なくとも通常のレベルでの実践、通常の奇跡の確認が必要とされています。（*20）三つの教区における列福調査の神学顧問として、私は「神のうちの真のいのち」の奉仕者たちに、ヴァスーラの列聖のための取り組みを始めることを検討するようにお勧めします。そのために私は喜んでお手伝いしましょう。

最後に一つ、分かち合いたいことがあります。皆さんの多くがご存知のように、私はサン・ジョバンニ・ロンドに行きました。皆さんの祈りと一致しつつ、聖なる修道士に、ヴァスーラを細心の注意で見守っていただくようお願いしました。その瞬間から、24時間続いた聖体礼拝の中で、すべてはうまくいくという強い確信が聖堂に広がりました。数日後、医師は、ヴァスーラの手術が2024年9月23日、聖パードレ・ピオの祝日になると発表しました。この偶然に対して、ヴァスーラは「偶然などというものはないわ」と言い、「もう何も心配することはない」と言いました。彼女は、この一週間の出来事はすべて、神の手によって直接定められたものであると固く信じていました。手術は成功したと見られましたが、思いがけず、彼女は主のもとに召されました。この急展開の影響を受け、多くの人々が不意を突かれました。聖なる修道士は、彼らの知らないところで、ヴァスーラを見守るという約束を守ってくれました。ヴァスーラは、ピオ神父が得たのとまさに同じ時刻に、永遠の報いを得たのです。ピオ神父の祝日の直後の午前二時半です。偶然などというものはありません。

神の祝福が皆さんにありますように。そして、私たち全員が、神のうちの真のいのちを生きることができるようになりますように。

キリストのうちに

ジョセフ・イアヌツィ神父

2024年9月25日

注釈

- * 1. 『神のうちの真のいのち』 2002年1月7日、2020年6月12日、2023年1月2日
- * 2. 1994年10月25日
- * 3. 2020年6月12日
- * 4. 2023年1月2日
- * 5. 2008年2月15日
- * 6. 1999年3月9日
- * 7. 1996年12月12日
- * 8. 1987年4月7日
- * 9. 2020年7月9日
- * 10. 2023年9月17日
- * 11. 2001年1月20日
- * 12. 2020年7月9日
- * 13. 1998年11月30日
- * 14. 2020年7月9日
- * 15. 1994年6月18日
- * 16. 1995年5月12日
- * 17. 1994年3月21日
- * 18. 1996年10月22日
- * 19. 1992年7月8日
- * 20. 教皇フランシスコの使徒的書簡『Maiorem Hac Dilectionem』、Libreria Editrice Vaticana、2017年7月11日